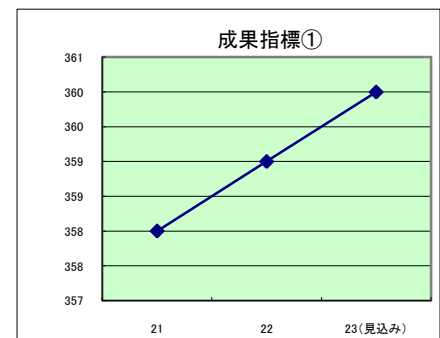
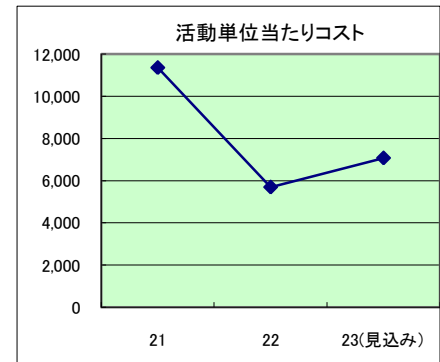


事務事業名	陵南の森総合センター運営事業		会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともにつくるまち	款	3	民生費
	施策(節)	1	市民協働と地域コミュニティ	項	1	社会福祉費
	施策の方向			目	11	陵南の森総合センター運営費
				事業	2	陵南の森総合センター運営
関連する計画等			作成部署	保健福祉部福祉支援課 (陵南の森総合センター)		
事業の目的	対象(誰を・何を)		連絡先	072-958-1111 内線 5500		
事業の内容	陵南の森総合センター利用者					
	意図(どういう状態にしたいのか)					
	構成施設間及び他部署との連絡調整の円滑化。来館者等の利便性向上を図る。					
総合的な利用者への案内、他部署から依頼を受けた申請書類等の配布、コピーサービスなど。陵南の森老人福祉センター、陵南の森公民館の実施事業の応援。						
根拠法令等	羽曳野市立陵南の森総合センター条例					
事業開始時期	☒ 昭和 58 年開始	☐ 明確にはわからない	終了年度 平成 年度			
	☐ 平成	☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている				
事業開始時からの状況変化	他部署から依頼される窓口業務に多少の変遷はあるものの、基本的には変化無し。					
市民や議会の要望						
実施手法	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先	☒ 市外郭団体委託 名称(シルバー人材センター)		委託内容	夜間、休日の窓口業務		
	☐ 民間委託 ☐ その他					

区 分		21年度	22年度	23年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		842	604	897
人件費【2】 (千円)		3, 225	1, 440	1, 650
職員数	正規職員	0. 43 人	0. 15 人	0. 15 人
	再任用職員	0. 00 人	0. 00 人	0. 10 人
	嘱託職員	0. 00 人	0. 15 人	0. 15 人
	臨時職員	0. 00 人	0. 00 人	0. 00 人
	超過勤務(参考) (時間)	42. 75 時間	20. 50 時間	24. 00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		4, 067	2, 044	2, 547
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)	131	98	110
	一般財源 (千円)	3, 936	1, 946	2, 437
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		21年度	22年度	23年度(見込み)
① 年間施設使用可能日数	日	358	359	360
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】／【B】①)		11, 360 円	5, 694 円	7, 075 円
市民1人当たりコスト(【A】／人口)		34 円	17 円	22 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方		平成21年度	平成22年度		平成23年度
	①	施設稼働日数 (式)	日		目標	358	359	達成率(%)	360
						358	359	100.0%	
	②	(式)			目標			達成率(%)	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	広く様々な市事業についての問合せ等があるため、総合案内業務については、市職員による方が望ましい。また、所属間の連絡調整も、構成施設が市直営である限り、市が直接関与する必要がある。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	その時々が必要に応じ、他部署から依頼の書類の配布、案内等を行っており、近隣在住の市民が利用されている。市民の利便性の向上という点では、妥当と思われる。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☐	☒	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☐	☒	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☐	☐	☒	コピーサービスについては、1枚10円徴収しており、受益者負担は適切と思われる。施設全体で共通して必要な事業費の処理、老人福祉センター、公民館が実施する事業に人手が必要な場合の応援を行ったり、窓口や電話での対応は、老人福祉センター、公民館、総合センター全体が互いに、同様に対応しており、施設全体の効率性について寄与していると思われる。
		受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☐	☐	☒	
		市の他事業と重複していない	☐	☐	☒	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☐	☐	☒	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	☐	☐	☒	保健福祉部、生涯学習室両部門にまたがる複合施設であるため、上位施策を明確にし難いが、総合案内業務は、コミュニティーセンターの機能に近いものとなっており、有効性は高いと思われる。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☐	☐	☒	
		成果を向上させる余地がない	☐	☒	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒	
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☐	☐	☒	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☐	☒	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☐	☒	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	施設を総合的、適正に運営している。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	陵南の森総合センター施設は、図書館を含めて市民が気軽に利用できる施設であるため、周辺地域から様々な用件で来館され、市民生活の利便性向上に寄与している。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
	窓口で対応すべき内容が多岐にわたるため、職員ごとに判断・対応の差異が生じないように、適宜事務連絡等により、より一層の意思統一を図る。	
行革本部評価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
行革本部評価	評価理由・意見	